

# 私たちの考える指導者の条件

平成27年6月19日

K.Y.  
G.N.  
T.S.

1. 「人間性」

2. 「決断力」

3. 「先見性」

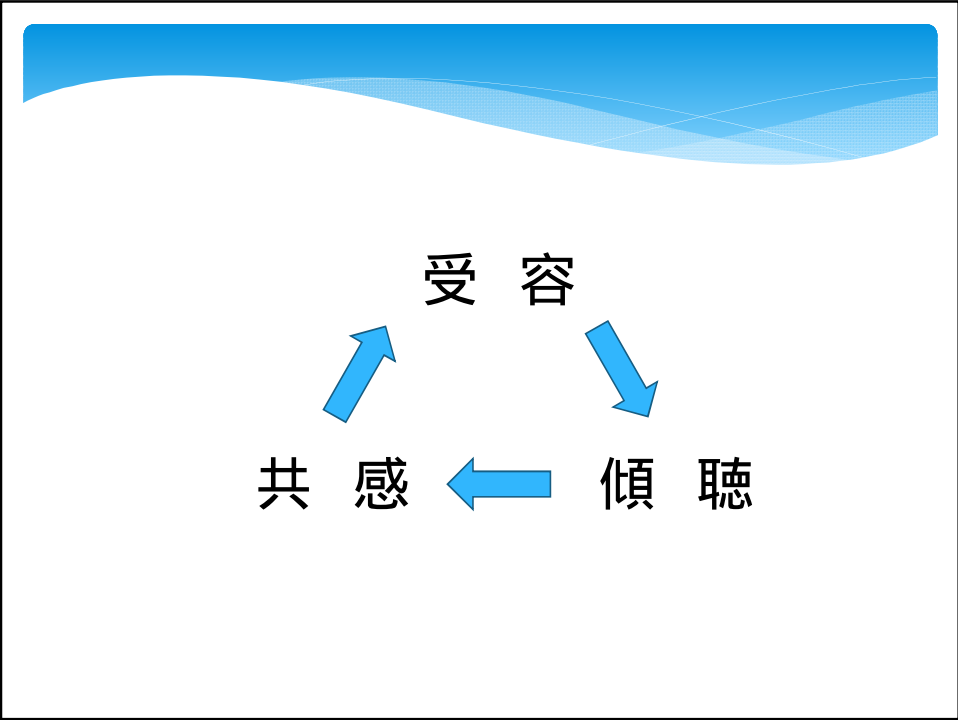
# 1.人間性

人間性とは？

人としての考え方、生き方を豊かにして  
組織全体を豊かにしていくためには、  
何が必要とされるのか？

## (1) 話しかけにくい雰囲気を醸し出している

自分自身、仕事を楽しくない。  
本当の意見や正しい意見にたどり着く  
までの情報を得ることが出来ない。  
偏った意見に流され、間違った選択を  
してしまう。  
最終的には組織が崩壊してしまうことに  
繋がる。



(2) 自らを律する気持ちや自制心がなく  
私利私欲で欲深い指導者だったら…

視点が違った方向へ進み、  
組織のことなど顧みなくなる。  
良い情報や意見を言ってもらえない。  
良好な人間関係が築けない。  
自分自身も成長しない。

「その身正しければ令せずして行わる」

(3) 謙虚な態度で人を思う気持ちを持つ

人のことを考え謙虚に生きていれば、  
災禍はむやみにやってこない。

人を思う気持ちを持つには、  
自分自身が健康であるべき。

## 人間性についてのまとめ

人は、頭のよし悪しではなく、  
心のよし悪しが最も重要であることを  
理解している。

人を思いやる気持ち、  
人を認めようとする気持ちが  
組織を強く回し続ける。

## 2. 決断力

(1) 決: 決める

(2) 断: 判断

(3) 力: 実行力



(1) 決断: 自分の意志で行う

日々決断を積み重ねてゆくことで磨かれてゆく。

常に変える勇気と疑問を持ち続ける。



(2) 判断: 他人の意見を聞き行う

材料を集めて整理分析する。

偏りなく人の意見を聴く。



### (3) 実行:自分の意志で行う

過去の失敗を恐れない。

ピンチをチャンスに変える。

失敗を恐れない職場づくりをする。



### 決断力とは

人の意見を聞き判断し自分の意志で  
決断し実行すること。

### 指導者としての決断力

決断した行動について、  
自ら失敗を恐れず行ってゆく姿勢をみせる  
失敗から学んでゆく事を態度で教える

### 3 . 先見性

- (1) 時代の移りゆく方向を見極める。
- (2) 先を読み、手を打つ。
- (3) 世論を超えて、より正しいことを行う。

- (1) 時代の移りゆく方向を見極める。

時は一刻一刻と進んでいる。  
昨日正しかったことが、  
今日も正しいとは限らない。

時代の流れを読み、  
先を見据えて組織を経営する。





(2) 先を読み、手を打つ。

組織を健全に経営するために、  
部下が不安なく働ける環境を作る。  
リスクマネジメントが行われることで、  
個人が本来の役割に集中することができる。


リスクを予測し、危機管理を行う。



(3) 世論を超えて、より正しいことを行う。

イノベーションが必要とされるとき、  
多数派ではないこともある。  
多数派が正しいこととは限らない。

状況を見極める力が必要である。



指導者は  
人とのつながりを保ち、  
先を見据え、  
責任を持ち行動する。